



2024年11月18日

各 位

会 社 名 株式会社ブロードバンドセキュリティ
代 表 者 名 代表取締役社長 滝澤 貴志
(コード 4398 東証スタンダード)
問 合 せ 先 管理本部経営企画部長 高田 宜史
(TEL 03-5338-7430)

「Gomez 地方銀行サイトランキング2024」の発表について ～「千葉銀行」が総合第1位を獲得！～

株式会社ブロードバンドセキュリティ（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：滝澤 貴志、以下 当社）は、「地方銀行サイトランキング2024」を Gomez の ウェブサイト (<https://www.gomez.co.jp/>) で発表したことをお知らせします。

地域金融の中核を担う地方銀行・第二地方銀行（以下「地銀等」）は、市場環境の変化に対応しながら、地域経済への貢献やビジネスの拡大を目標に、DX（デジタル・トランスフォーメーション）を積極的に推進しています。こうした取り組みのなか、ウェブサイトは単なる情報提供の場を超えて、デジタルマーケティングの要としての機能も期待されています。

各行のウェブサイトにおいて、コロナ渦には、オンラインでの説明や手続き完結を目指すページや動線が多く見られましたが、アフターコロナとなった現在においては、「来店予約」といったサービスに代表されるように、オンラインの機能や効率性を上手く活かしながらも、ウェブサイトをユーザーとのリアルなコンタクトのきっかけとして活用する動きが顕著です。

当社では、地銀等のウェブサイトのなかでも、とりわけ顧客とのコミュニケーションの起点となるサービス案内サイト（ログイン前の一般ユーザー向けサイト）を評価するランキング調査をこれまで継続的に公表してきました。11回目を迎える今回は、地方銀行におけるウェブサイトの位置づけや役割にも変化が見られることから、調査項目を大幅に増やし、また、アクセシビリティやテクニカルSEO（検索エンジンから適正なサイト評価を獲得するためのサイトの効率性）といった新たな評価要素も多く取り込み、調査を実施しました。

当ランキングでは、「機能性・使いやすさ」と「商品・サービス情報の充実度」の2つのカテゴリから構成する220の調査項目により Gomez のアナリストが評価し、総合的に優れた地方銀行サイトのランキングを決定します。

「Gomez 地方銀行サイトランキング2024」上位10行は、次の通りです。

順位	総合得点	銀行名
1位	7.65	千葉銀行
2位	7.53	池田泉州銀行
3位	7.53	南都銀行
4位	7.49	肥後銀行
5位	7.41	関西みらい銀行
6位	7.37	群馬銀行
7位	7.32	足利銀行
8位	7.32	百五銀行
9位	7.28	伊予銀行
10位	7.27	常陽銀行

※11位以下の総合ランキング結果はGomezのウェブサイトをご覧ください。

【カテゴリ別ランキング】

■機能性・使いやすさ

順位	得点	銀行名
1位	7.80	肥後銀行
1位	7.80	伊予銀行
3位	7.63	北陸銀行
4位	7.59	常陽銀行
4位	7.59	東邦銀行

※6位以下の総合ランキング結果はGomezのウェブサイトをご覧ください。

■商品・サービスの充実度

順位	得点	銀行名
1位	8.32	千葉銀行
2位	8.18	池田泉州銀行
3位	8.07	静岡銀行
4位	7.80	群馬銀行
5位	7.66	南都銀行

※6位以下の総合ランキング結果はGomezのウェブサイトをご覧ください。

【総評】

地銀等におけるウェブサイト改善の動きは引き続き活発です。特に、アフターコロナの現在においては、住宅ローンやリスク性商品の販売、NISAへの加入等において、来店、問い合わせやセミナー参加を促すための情報掲載や動線の確保、またオンラインで完結する予約システムの搭載等が進んでいます。

こうしたマーケティング的な要素を含むウェブサイトの取り組みについては大きな前進が見られる一方で、ナビゲーション、パフォーマンス（サイトの表示速度）といったウェブサイトとして期待される一般的かつ基礎的な要素については、上場企業のコーポレートサイトや一般的な大型ECサイト他と比較した場合、残念ながら大きく劣後していると言わざるを得ません。

地方銀行は多様な商品・サービスを提供しており、さらに銀行によっては多くのキャンペーン等を展開しているため、ウェブサイトに掲載する情報が非常に多岐にわたります。その結果として、ユーザー側からすると目的の情報を見つけにくい状況が発生しています。必要な情報にたどり着

くために多くのページを遷移しなければならない複雑な階層構造となっているケースや、ページごとにナビゲーションやデザインが異なるケースも散見され、ユーザーはサイト内で迷子になりやすい状態です。こうした課題に対しては、情報の種類や重要性等に応じた適切なサイト構造に見直し、ファインダビリティ（情報の見つけやすさ）を確保したナビゲーションやデザインを採用することが解決の糸口となるでしょう。

また、多くの地銀のウェブサイトにおいて、アクセシビリティへの配慮が強く期待される状況です。なかでも、色のコントラストについては重要な課題として挙げられます。比較的シニアな年齢層がユーザーとして想定される地銀のウェブサイトにおいては、視認性は特に重要なポイントと言えます。

個人ユーザー向けに情報発信するウェブサイトにおいては、効率的なインデックス化や検索エンジンからの評価向上に役立つXMLサイトマップ（ウェブサイトのURL情報を検索エンジンに伝えるためのファイル）の実装も一般的に行われる対策の1つであり、ウェブサイトの利便性と集客力を強化することが期待できます。XMLサイトマップの整備により、ユーザーは必要な情報にアクセスしやすくなります。しかし、XMLサイトマップを整備している地銀のウェブサイトはまだ少数派となっています。

【上位サイトの特徴】

「Gomez地方銀行サイトランキング2024」の総合1位は、総合得点7.65点を獲得した千葉銀行となりました。カテゴリ別では、「機能性・使いやすさ」で12位、「商品・サービス情報の充実度」で1位となりました。

同行のウェブサイトは、トップページの掲載情報は多いものの、各カテゴリやメニューへの動線を明確にしているため、ユーザーは求める情報を探しやすいでしょう。「お問い合わせ」「よくある質問」といったユーザーをサポートするメニューが常駐しており、自動応答のチャットツールも搭載しています。特に、商品やサービスに関連した情報掲載が充実している点が際立っていますが、個々のページ情報の有無だけではなく、商品やサービスのページから「来店予約」「相談」「申し込み」といったユーザーの次のアクションを促す動線等が確保されている点が高い評価を獲得した理由の1つです。住宅ローンの紹介に動画を活用するといった取り組みも見られます。

総合2位は、池田泉州銀行となりました。カテゴリ別では、「機能性・使いやすさ」で17位、「商品・サービス情報の充実度」で2位となりました。

投資信託や外貨預金といったリスク性商品やNISA等のサービスについて、初心者理解を助ける啓蒙コンテンツがとても充実しています。こうした情報は、構成や見やすさにも配慮されています。また、一般的に地銀サイトで搭載されることが多い「住宅ローンシミュレーション」だけでなく、「相続税シミュレーション」「税制優遇シミュレーション」といった多様なシミュレーション機能も搭載しているのも同行ウェブサイトの特徴です。

総合3位は「南都銀行」となりました。カテゴリ別では、「機能性・使いやすさ」で7位、「商品・サービス情報の充実度」で5位となっています。

ナビゲーションに工夫が見られるウェブサイトです。銀行サイトで一般的に採用されることが多い「ためる」「ふやす」といった目的別の動線以外にも、商品別やライフステージ別の動線も提供しています。また、充実したフッターメニューからも、ユーザーは情報が探しやすくなっています。支店の店舗情報ページには、「来店予約」への動線を確保している点も、ユーザーのニーズやリアルなアクションを想定したサイト設計と言えるでしょう。

【調査概要】

調査期間	・ 2024年10月15日～2024年11月7日 ・ ランキング結果は、調査時点の各サイトに基きます。
調査対象	・ 地方銀行および第二地方銀行（協会会員行）
調査範囲	・ ログイン前の一般ユーザー向けサービス案内サイトを調査対象とします。ログイン後のインターネットバンキングサービスは評価対象外です。
調査手順	・ 地域金融の中核を担う地方銀行と第二地方銀行（協会会員行）（99行）に対して予備調査を実施し、一定基準を満たす銀行を本選調査の対象行として38行選出しました。 ・ 本選調査の対象となった38行に対して、2つのカテゴリから構成する220の調査項目に基づいて、当社アナリストが評価を実施しました。

【評価カテゴリ】

カテゴリ名称	評価内容
機能性・使いやすさ	ウェブサイト全体のユーザビリティを評価するカテゴリです。サイト全体におけるナビゲーション、デザイン、検索機能、PDF閲覧や入力時の操作性、アクセシビリティへの配慮やサイトパフォーマンス等が評価の中心となります。テクニカルSEOの要素も評価の対象です。
商品・サービス情報の充実度	地方銀行における商品やサービスに関連した情報について評価するカテゴリです。情報の見つけやすさや見やすさの観点に加え、「来店予約」や「問い合わせ」といったユーザーの次のアクションをサポートする動線の確保も重視しています。

【Gomezについて】

Gomezは、インターネット上で提供されるサービスを中立的な立場から評価・分析し、インターネット利用者の利便性向上とEコマース市場などの拡大に貢献するための情報提供・企業向けのアドバイスを目的とし、消費者・企業双方に対して利益となる情報を掲載しています。

Gomezを運用するゴメス・コンサルティング本部は、BBSec が2021年7月にモーニングスター株式会社より事業継承しております。

【BBSecについて】

現状の可視化や診断から事故発生時の対応、24時間/365日体制での運用まで、フルラインアップのサービスを提供しています。高い技術力と豊富な経験、幅広い情報収集力を生かし、「サプライチェーンを狙った攻撃」「社会インフラを狙った攻撃」「AI時代のセキュリティ」を解決すべき社会課題ととらえ、より多くのお客様を悪意ある攻撃者から守ることで、「便利で安全なネットワーク社会を創造する」というビジョンを実現します。

【本リリースに関するお問い合わせ】

株式会社ブロードバンドセキュリティ 経営企画部

TEL：03-5338-7430 E-mail：press@bbsec.co.jp

【本サービスに関するお問い合わせ】

株式会社ブロードバンドセキュリティ ゴメス・コンサルティング本部

TEL：03-5338-7436 E-mail：gomez@bbsec.co.jp